

事後評価シート

コード 12-3-2	事務事業名 IT関連事業	所管部課 生涯学習部保谷公民館					
事務事業の概要	事務事業の目的 情報技術に関する基礎技能を広く普及させるため				事業の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業		
	実施内容、実施方法 市内在住者を対象に、1人12時間の講習を実施。 平成13年から16年までは 基本 ステップアップ・ワード 同エクセル等の基礎講習を行い、17年度は新たに、地域づくり・人づくりを目指し、グループ参加を呼びかけ、 ホーム・ページ インターネットなどを追加した講習会を実施した。 18年度はものづくり講座として、 絵本づくり アルバム整理 カレンダーづくり等 クラフトづくり エッセイ等づくりをおこなう。この間民間業者に運営を委託。				根拠法令等		
	事業開始時期	平成 13 年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()			
評価指標の設定	活動指標名 IT講習会開催数		活動指標の考え方(定義) 講習会の開催回数				
	成果指標名 1次 IT講習受講者数		成果指標の考え方(定義) 1次 講習会参加人数				
	1次		1次				
	2次		2次				
事務事業データ	事業費(A)		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
	国庫支出金		千円				
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			5,626	5,637	4,455	3,895
	所要人員(B)		人	0.06	0.06	0.08	0.15
	人件費(C)=平均給与×(B)		千円	496	500	655	1,228
	総コスト(D)=(A)+(C)		千円	6,122	6,137	5,110	5,123
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (開催回数)		千円	142	153	142	#DIV/0!
	歳入		千円	0	495	763	
	活動指標	目標値					38
		実績値	回	43	40	36	
	活動指標	目標値					
		実績値					
1次成果指標	目標値				576	608	
	実績値	人	631	619	454		
1次成果指標	目標値						
	実績値						
2次成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)		興味ある内容、アシスタント等も丁寧な対応(満足度95%) 期間が短い、他の機関も紹介してほしい(普通4%) 内容が平易、スピードが速い、難しい(1%)【平成17年度受講者アンケート】				
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)		平成18年8月2日付で、東京都公民館連絡協議会に加盟の16市に、事業実施に関する調査をおこなっている。				
	運営上の制約条件・外部要因等		特になし				

コード 12-3-2	事務事業名 IT関連事業	所管部課 生涯学習部保谷公民館
---------------	-----------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 2 上位施策と目的が一部合致しているが、施策に対する貢献度は他の事業と比較して低い ▼	2	
	目標の妥当性 3 市が独自に目標を定量的に設定している ▼	3	
	緊急性 2 目的をある程度達成しているため、実施の有無について検討の余地がある ▼	2	
2 市が関与する必要性	法的義務性 1 法律・条例・要綱・要領等で実施が規定されていない ▼	1	
	必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである ▼	2	
	民間との役割分担 1 民間団体が同種のサービスを十分提供し、質または量が上回っている ▼	1	
3 内容の適切さ	ニーズ 2 市民(庁内)ニーズが推測でき、推測に見合ったサービスであることを説明できる ▼	2	
	規模・方法の妥当性 3 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している ▼	3	
	公平性 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民または団体である ▼	1	
4 実施手段の適切さ	有効性 2 現在、質・水準の改善に取り組んでいるが、成果の向上はあまり期待できない ▼	2	
	効率性 1 具体的な計画や目標等に基づいたコスト低減には特に取り組んでいない ▼	1	
	独自性 1 国や都、庁内に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業が複数ある ▼	1	
合計		21	

総合評価	評価結果	判断理由、説明等
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	従来からのパソコン技能講習は、既に当初の目的を達成したと思われる。今後はパソコンを道具として生かし、デジタル写真やスキャナ等の機器と組み合わせて、市民自らの文書やデザインで作品を作り出す場としての発展を図る。

18年度における改善点	ワード、エクセルといったパソコン技能講習会100%だったものに、「オリジナル絵本をつくらう」「エッセイ・紀行文集をつくらう」をはじめ5つの『ものづくり講座』を新規に開設した。18年度比率では6:4で後者が主流となっている。【パソコン専用室に設置した機器(平成12年度購入)がウィンドウズ98の旧型で、機能的に劣化が著しく、プログラム、ソフト面などあらゆる障害が出ている。今後の事業運営としては、機器をリース等で借上げノートタイプの移動式のを整備し、施設の効率的な運用をおこなう。また人材派遣会社や他の機関の人材を活用し、市内で唯一のパソコン事運営業の一層の充実を図っていきたい。】
-------------	--

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、ひばりが丘公民館のみの実施であり、当館にはパソコン専用室も設置されているが、参加者は年々減少しており、パソコン専用室の稼働率も低い。 ・他市と比較して、圧倒的にサービス水準が高い。 ・当初は、国の情報推進化に関する施策で始まったもので、国庫補助により導入した機器も劣化が著しく、プログラム、ソフト面などあらゆる障害が出ている。 ・再投資して新しい事業展開を行う場合、リース等による新たな機器導入が必要となるが、今後国・都の補助は見込めず、費用対効果を考えると、もう市としての役割は終えても良いと考える。 ・同種の事業は、シルバー人材センターや民間の多くの団体で実施している。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	本事業としては一旦廃止し、現在所有する機器を貸し出すなど、別の事業として再構築を図る必要がある。その場合、当該事業における予算の範囲内で実施するべきと思われる。
--------	---	--